

森の植物や鳥・虫などの動物を紹介します

1 ニホンイシガメ (脊椎動物門爬虫綱カメ目イシガメ科)

以前は単に「イシガメ」とされていましたが、ミナマイシガメやその亜種ヤエマイシガメが知られるようになったこと、ヌマガメ科も含めてペット用に「〇〇イシガメ」という種が流通するようになったことから、区別のため「ニホンイシガメ」の和名が用いられるようになりました。

小さい頃は「ゼニガメ」(銭亀)と呼ばれることがあります。ニホンイシガメは日本固有種で、本来は山麓の池や沼、河川では中流から上流に生息していました。

甲羅は平たく扁平で黄土色、個体によっては黄褐色やオレンジ色の個体も見られます。幼体では甲羅に3本の隆起があり、甲羅の後縁もぎざぎざになっています。



2 クサガメ (爬虫綱カメ目イシガメ科)



流れの緩やかな河川、湖、池沼、湿原、水たまり、水田などに生息します。昼行性ですが、夏は薄明薄暮性、夜行性傾向が強くなる個体もいます。日光浴を行うことを好み、陸づたいに水場を移動する個体もいます。

食性は雑食で、大型個体は貝類や大型の甲殻類も噛み砕いて食べます。主に水中で採食します。また、クサガメの子もゼニガメと呼ばれています。

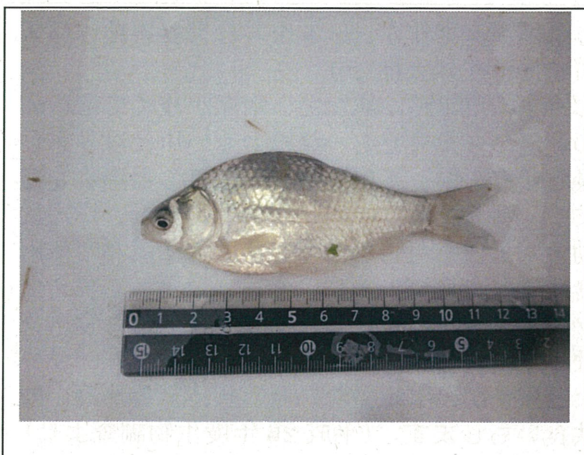
甲はやや扁平で後縁は鋸歯状にならず、背甲に3本の発達した隆条をもち、甲板は黒褐色です。



3 コイ (脊椎動物門硬骨魚綱コイ目コイ科)

日本各地の河川や湖沼、移植によって全世界の温帯と熱帯に分布しています。フナの仲間よりも、比較的流れの緩い淵などを好みます。

口の横に2対のヒゲがあり、水草、甲殻類や貝類の他、昆虫や小魚など、ほとんどのものを食べてしまう雑食性の魚です。寿命が長く、通常は20年生きますが、70~80年間に渡り生きのびる個体もあります。



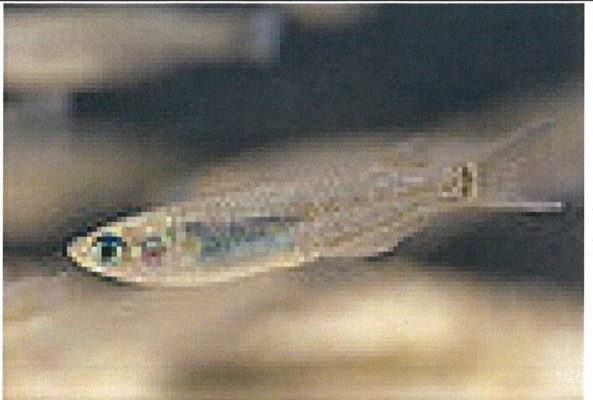
4 ゲンゴロウブナ (脊椎動物門硬骨魚綱コイ目コイ科)

本来は琵琶湖の固有種ですが、現在では人為放流によって日本全国に分布しています。河川や池沼、湖に生息します。ギンブナなど、他のフナ類と比較して体高が高く、真横から見ると菱形の体型をしています。また眼も若干下方についています。生長は早く、生後3年で体長が30cmほどになり、大きなものでは60cm以上に達する個体も見られます。寿命は長く、中には数十年いきるものも存在します。関西では「寒鰯」とも呼び、冬場は特に美味しいです。

5 モツゴ (脊椎動物門硬骨魚綱コイ目コイ科フナ属)

モツゴは国内では関東地方より西の本州、四国、九州に自然分布しています。現在は北海道や東北地方、沖縄県などにも移入していて、日本全国で見られます。

湖や池沼、ため池などの他、川の下流域などに生息しますが、モツゴは適応力に優れ、場所によっては川の全流域やコンクリートで護岸された都市部の川でも見ることができます。



ミナミメダカ (メス)



6 メダカ南日本集団 (ミナミメダカ)

(脊椎動物門硬骨魚綱ダツ目メダカ科)

平野部の小川や池、水田など人里近い水中に生息するところから、古来日本人に親しまれてきた魚です。

最大体長は雄で3cm、雌で3.5cm程度。体色は淡黄灰色。雄では背びれ後部の膜に切れ込みがあって臀(しり)

びれが大きく、雌では切れ込みがなく臀びれは小さい。突然変異によって色素胞が消失・変化したヒメダカ、シロメダカ、アオメダカなどの飼育品種があります。メダカは普通、水の表層を群泳し、雑食性でアオミドロ、などの付着藻、ボウフラ、ミジンコなどを食べます。

7 ミシシippアカミガメ (爬虫綱カメ目ヌマガメ科)

このカメは、要注意外来生物(外来生物法)で世界の侵略的外来種ワースト100に入っています。肉食性の強い種で、小魚や水生昆虫、エビ、ザリガニ、カタツムリなどを食べていますが、水草などの植物も食べます。

もともとは日本にはいないカメですが、ペット用に輸入されたものが飼い主に捨てられて大きくなり、繁殖して日本の池や沼でも増えています。そのため、ニホンイシガメやクサガメなどの日本産のカメがすむ場所がなくなってきました。日本に限らず、世界各地で同じようなことが起きてきていて、本来の生態系に大きな影響をあたえつつあります。野生では気の荒いものもいます。

びわこ地球市民の森でもたくさん繁殖しており、29年度に106匹捕まえて駆除しました。



8 アメリカザリガニ (節足動物門軟甲綱エビ目アメリカザリガニ科)



アメリカ南部原産ですが、日本を含む世界各地へ移入され、分布を広げた外来種です。

平野部の水田、用水路、池など、水深が浅くて流れの緩い泥底の環境に多く生息し、流れの速い川には生息しません。湿地に穴を掘って生息し、夜になると出歩いて餌を探します。雨天では日中もしばしば活動し、岸辺に上陸して動き回る姿も見られます。冬は穴に潜んで冬眠します。食性は雑食性で、藻類、水草、落葉、小魚、オタマジャクシ、水生昆虫、動物の死骸など何でも食べます。天敵はオオクチバス、ライギョ、ウシガエル、サギ類、カメなどですが、餌が少ない時、個体密度が高い時等には、共食いもします。(平成26年度生物調査より)